



2024年3月期 第3四半期  
決算説明資料

2024年2月8日

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
営業収益	295,648	293,633	△2,015 (△0.7%)
運輸業	113,198	128,610	+15,411
流通業	73,138	64,904	△8,234
不動産業	64,895	47,040	△17,855
その他の事業	64,046	72,241	+8,194
調整額	△19,631	△19,163	+467
営業利益	23,842	40,423	+16,581 (+69.5%)
運輸業	10,380	23,710	+13,330
流通業	490	1,425	+934
不動産業	14,894	11,135	△3,758
その他の事業	△1,957	4,117	+6,074
調整額	34	34	—
経常利益	23,828	40,578	+16,749 (+70.3%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,967	31,110	+20,142 (+183.7%)

# 営業外・特別損益、連結貸借対照表



## <営業外・特別損益>

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期		増減・主な要因
営業外収益	4,728	5,188	+459	固定資産税等精算金 772 (+771)
営業外費用	4,742	5,034	+291	
特別利益	2,846	11,431	+8,585	固定資産売却益 10,115 (+8,120) 関係会社株式売却益 973 (+973) 工事負担金等受入額 186 (△316)
特別損失	6,431	7,733	+1,302	減損損失 5,604 (+5,482) 特別退職金 - (△2,482)

## <連結貸借対照表>

単位：百万円	2022年度	2023年度 第3四半期		増減・主な要因
流動資産	168,590	154,950	△13,639	
固定資産	1,111,385	1,121,525	+10,139	
資産合計	1,279,976	1,276,476	△3,500	現金及び預金 △9,715 未収金 △14,997 投資有価証券 +13,735
流動負債	378,938	428,718	+49,779	
固定負債	512,547	447,493	△65,053	
負債合計	891,485	876,211	△15,274	預り金 +60,725 有利子負債 △68,039
純資産合計	388,490	400,264	+11,774	利益剰余金 +18,624 その他有価証券評価差額金 +6,448 自己株式 △12,385
負債純資産合計	1,279,976	1,276,476	△3,500	

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	113,198	128,610	+15,411 (+13.6%)	
鉄道業	85,119	96,147	+11,027	(+)利用者数の回復 (+)当社バリアフリー料金制度適用
バス業	23,724	26,091	+2,367	(+)利用者数の回復 (+)運賃改定
その他	4,353	6,371	+2,017	(+)箱根観光需要回復
営業利益	10,380	23,710	+13,330 (+128.4%)	
鉄道業	9,809	20,309	+10,499	
バス業	370	1,699	+1,328	
その他	200	1,702	+1,501	

## <フリーパス売上枚数（対前年）>

箱根フリーパス	+103.7%
江の島・鎌倉フリーパス	+135.0%

## <小田急旅行センター利用者数>

単位：千人	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
乗車券等の購入者	36	276	+240

## <箱根エリアの営業収益> ※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
箱根エリア※	13,091	18,430	+5,339

（参考）箱根交通各社合計輸送人員 対前年 +29.5%

## <鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

### ■ 輸送人員

単位：千人	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減		
			対2022年度		対2018年度
定期	294,120	305,836	+11,716	(+4.0%)	(△15.2%)
通勤定期	203,076	211,929	+8,853	(+4.4%)	(△17.2%)
通学定期	91,044	93,907	+2,863	(+3.1%)	(△10.1%)
定期外	198,860	215,373	+16,513	(+8.3%)	(△2.9%)
合計	492,980	521,209	+28,229	(+5.7%)	(△10.5%)

### ■ 運輸収入

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減		
			対2022年度		対2018年度
定期	28,741	31,533	+2,792	(+9.7%)	(△12.5%)
通勤定期	24,029	26,698	+2,668	(+11.1%)	(△12.9%)
通学定期	4,711	4,834	+123	(+2.6%)	(△10.4%)
定期外	46,818	53,579	+6,761	(+14.4%)	(△0.9%)
旅客運輸収入計	75,559	85,113	+9,553	(+12.6%)	(△5.5%)
運輸雑収	2,268	2,263	△5	(△0.2%)	(△20.9%)
運輸収入合計	77,828	87,376	+9,548	(+12.3%)	(△6.0%)

### ■ 営業費

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
営業費合計	68,255	68,502	+247
人件費	19,289	19,177	△112
修繕費	3,852	4,166	+314
動力費	5,333	4,670	△663
固定資産除却費	550	467	△83
減価償却費	18,426	17,630	△795
その他	20,802	22,390	+1,588

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	73,138	64,904	△8,234 (△11.3%)	
百貨店業	23,456	17,667	△5,789	(△)新宿店売場縮小（2022/10/3～）
ストア・小売業	44,260	46,509	+2,248	(+)ストア売場構成・運営の改善
その他	5,421	728	△4,693	(△)前期末白鳩連結除外
営業利益	490	1,425	+934 (+190.4%)	
百貨店業	268	△46	△315	
ストア・小売業	167	1,427	+1,260	
その他	54	44	△10	

## <百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

単位：百万円	2023年度 第3四半期	増減
新宿店	8,403	△38.8%
店頭	8,116	△39.3%
町田店	6,484	+2.7%
ふじさわ	1,406	+2.8%
その他	1,373	△32.9%
合計	17,667	△24.7%

## <ストア・小売業：小田急商事ストア部門取扱高（対前年）>

全店	+6.7%
既存店	+6.3%

単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	64,895	47,040	△17,855 (△27.5%)	
不動産分譲業	30,957	14,349	△16,607	(△)計上戸数・売却件数減
不動産賃貸業	33,938	32,691	△1,247	(△)前期末小田急第一生命ビル持分売却
営業利益	14,894	11,135	△3,758 (△25.2%)	
不動産分譲業	2,918	△35	△2,954	
不動産賃貸業	11,975	11,171	△804	

## <不動産分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
戸建	58	24	△34
マンション	111	57	△54
土地	27	4	△23
合計	196	85	△111

## <不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却件数>

単位：件	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
投資用不動産	3	1	△2

# セグメント情報（その他の事業）



単位：百万円	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	64,046	72,241	+8,194 (+12.8%)	
ホテル業	13,844	18,835	+4,991	(+)稼働回復 (△)ホテル小田急連結除外
レストラン飲食業	10,927	11,267	+340	
その他	39,274	42,137	+2,863	(+)リゾート人材派遣需要回復
営業利益	△1,957	4,117	+6,074 (-)	
ホテル業	△3,171	2,079	+5,250	(+)稼働回復 (+)ホテル小田急連結除外
レストラン飲食業	△108	211	+320	
その他	1,322	1,826	+504	

## <ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
ホテルセンチュリーサザンタワー	39.0%	82.5%	+43.5p

## <ホテル業：客室稼働率※1>

	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
ホテルセンチュリーサザンタワー	56.3%	88.6%	+32.3p
山のホテル	58.5%	73.9%	+15.4p
箱根ハイランドホテル	51.4%	67.8%	+16.4p
はつはな※2	—	59.9%	—

※1 「ハイアットリージェンシー 東京」は 2023年6月30日に外部譲渡。

※2 「はつはな」は 2022年1月4日から工事のため休業し、同年9月11日にリニューアルオープン。



単位：百万円	2022年度	2023年度	増減	10月時点見込	増減
営業収益	395,159	412,000	+16,840 (+4.3%)	409,500	+2,500 (+0.6%)
運輸業	151,704	170,900	+19,195	170,300	+600
流通業	96,156	87,400	△8,756	87,200	+200
不動産業	84,034	82,300	△1,734	81,300	+1,000
その他の事業	90,716	99,200	+8,483	97,700	+1,500
調整額	△27,451	△27,800	△348	△27,000	△800
営業利益	26,601	47,000	+20,398 (+76.7%)	45,000	+2,000 (+4.4%)
運輸業	8,463	23,700	+15,236	23,000	+700
流通業	866	2,000	+1,133	2,100	△100
不動産業	18,047	16,500	△1,547	15,500	+1,000
その他の事業	△821	4,800	+5,621	4,400	+400
調整額	46	0	△46	0	-
経常利益	25,119	46,000	+20,880 (+83.1%)	44,000	+2,000 (+4.5%)
親会社株主に帰属する当期純利益	40,736	73,000	+32,263 (+79.2%)	71,000	+2,000 (+2.8%)
設備投資額	52,889	65,500	+12,610	77,100	△11,600
減価償却費	47,866	46,300	△1,566	46,300	-
有利子負債残高	706,479	627,300	△79,179	627,300	-

# セグメント別業績予想（運輸業）



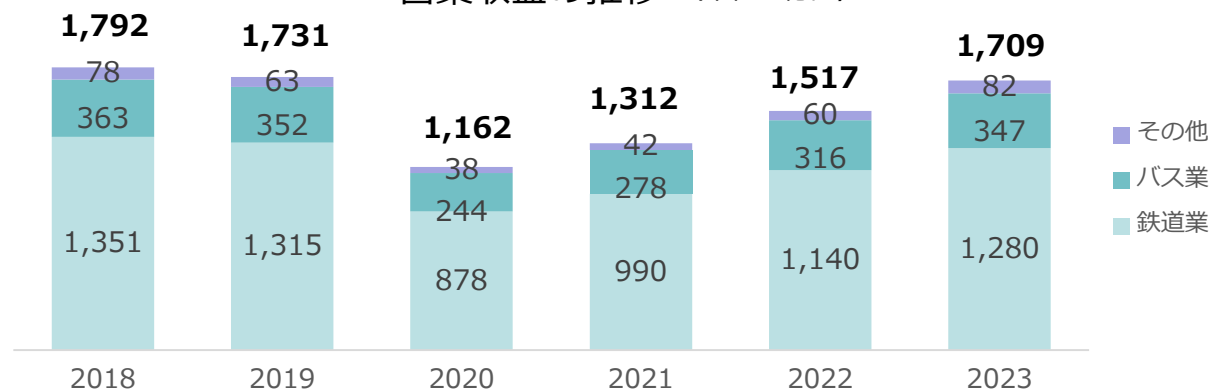
単位：百万円	2022年度	2023年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	151,704	170,900	+19,195 (+12.7%)		170,300	+600 (+0.4%)	
鉄道業	114,055	128,000	+13,944	(+)利用者数の回復 (+)当社バリアフリー料金制度適用	127,300	+700	(+)定期外利用者数の回復
バス業	31,643	34,700	+3,056	(+)利用者数の回復 (+)運賃改定	34,800	△100	
その他	6,004	8,200	+2,195	(+)箱根観光需要回復	8,200	-	
営業利益	8,463	23,700	+15,236 (+180.0%)		23,000	+700 (+3.0%)	
鉄道業	8,629	20,900	+12,270		20,500	+400	
バス業	△372	1,200	+1,572		900	+300	
その他	206	1,600	+1,393		1,600	-	
設備投資額	26,280	29,200	+2,919		35,400	△6,200	
減価償却費	31,424	30,900	△524		30,900	-	

## <箱根エリアの営業収益（対前年）>

単位：百万円	2022年度	2023年度	増減
箱根エリア*	18,377	24,191	+5,814

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

## 営業収益の推移（単位：億円）



# セグメント別業績予想（運輸業）



<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

## ■ 輸送人員

単位：千人	2022年度	2023年度	増減		
			対2022年度		対2018年度
定期	381,658	399,516	+ 17,858	(+4.7%)	(△15.4%)
通勤定期	270,879	283,043	+ 12,164	(+4.5%)	(△17.3%)
通学定期	110,779	116,473	+ 5,694	(+5.1%)	(△10.1%)
定期外	266,998	287,459	+ 20,461	(+7.7%)	(△2.4%)
合計	648,656	686,975	+ 38,319	(+5.9%)	(△10.4%)

## ■ 運輸収入

単位：百万円	2022年度	2023年度	増減		
			対2022年度		対2018年度
定期	37,804	41,744	+ 3,940	(+10.4%)	(△12.5%)
通勤定期	32,103	35,738	+ 3,634	(+11.3%)	(△12.9%)
通学定期	5,701	6,006	+ 305	(+5.4%)	(△10.2%)
定期外	63,229	71,674	+ 8,444	(+13.4%)	(△0.2%)
旅客運輸収入計	101,034	113,419	+ 12,384	(+12.3%)	(△5.1%)
運輸雑収	3,004	3,041	+ 37	(+1.3%)	(△20.8%)
運輸収入合計	104,038	116,461	+ 12,422	(+11.9%)	(△5.6%)

## ■ 営業費

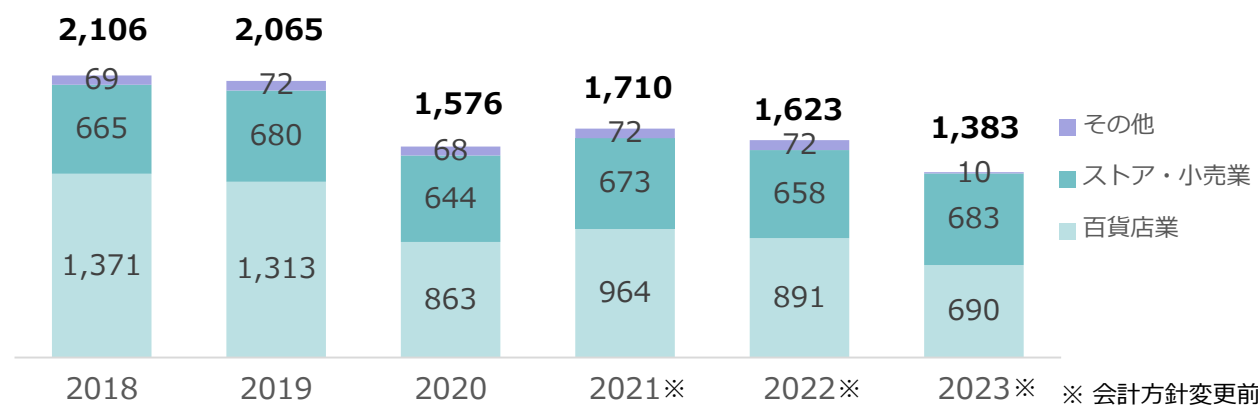
単位：百万円	2022年度	2023年度	増減
営業費合計	95,597	96,639	+ 1,041
人件費	26,084	26,057	△27
修繕費	6,969	8,141	+ 1,171
動力費	7,418	6,144	△1,274
固定資産除却費	1,372	1,297	△74
減価償却費	24,744	23,668	△1,076
その他	29,007	31,330	+ 2,323

# セグメント別業績予想 (流通業)



単位：百万円	2022年度	2023年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	96,156	87,400	△8,756 (△9.1%)		87,200	+200 (+0.2%)	
百貨店業	29,460	24,300	△5,160	(△)新宿店売場縮小 (2022/10/3~)	24,800	△500	
ストア・小売業	59,408	62,100	+2,691	(+)ストア売場構成・運営の改善	61,400	+700	(+)ストア売場構成・運営の改善
その他	7,287	1,000	△6,287	(△)白鳩連結除外	1,000	-	
営業利益	866	2,000	+1,133 (+130.9%)		2,100	△100 (△4.8%)	
百貨店業	259	300	+40		500	△200	
ストア・小売業	536	1,700	+1,163		1,600	+100	
その他	70	0	△70		0	-	
設備投資額	5,623	2,000	△3,623		3,100	△1,100	
減価償却費	2,600	2,700	+99		2,700	-	

営業収益の推移 (単位：億円)



# セグメント別業績予想（不動産業）



単位：百万円	2022年度	2023年度	増減・主な要因	10月時点見込	増減・主な要因
営業収益	84,034	82,300	△1,734 (△2.1%)	81,300	+1,000 (+1.2%)
不動産分譲業	38,913	39,200	+286	38,200	+1,000 (+)投資用不動産の売却件数増
不動産賃貸業	45,121	43,100	△2,021 (△)小田急第一生命ビル持分売却	43,100	-
営業利益	18,047	16,500	△1,547 (△8.6%)	15,500	+1,000 (+6.5%)
不動産分譲業	3,337	3,300	△37	3,200	+100
不動産賃貸業	14,710	13,200	△1,510	12,300	+900 (+)費用削減
設備投資額	16,670	28,400	+11,729	35,800	△7,400
減価償却費	10,131	9,600	△531	9,600	-

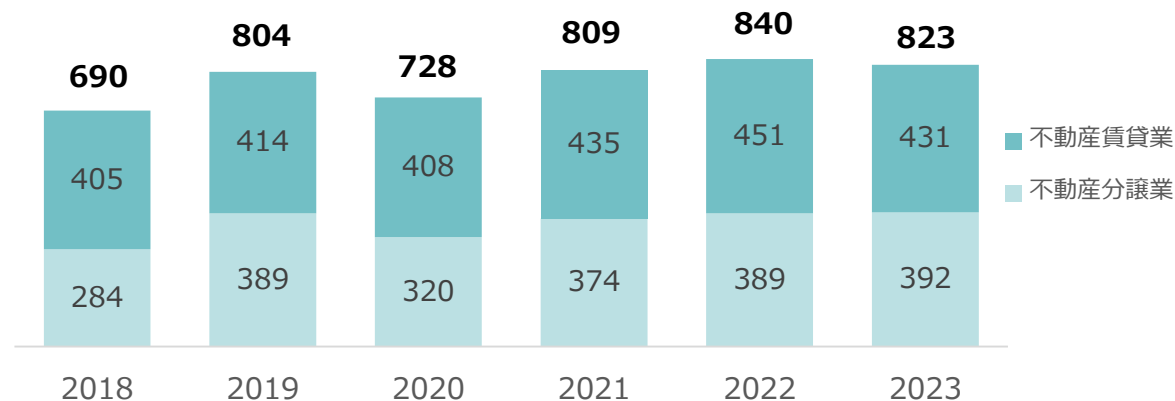
<不動産分譲業：小田急不動産 計上予定戸数>

単位：戸・区画	2022年度	2023年度	増減
戸建	79	34	△45
マンション	111	215	+104
土地	28	15	△13
合計	218	264	+46

<不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却予定件数>

単位：件	2022年度	2023年度	増減
投資用不動産	5	5	-

営業収益の推移（単位：億円）

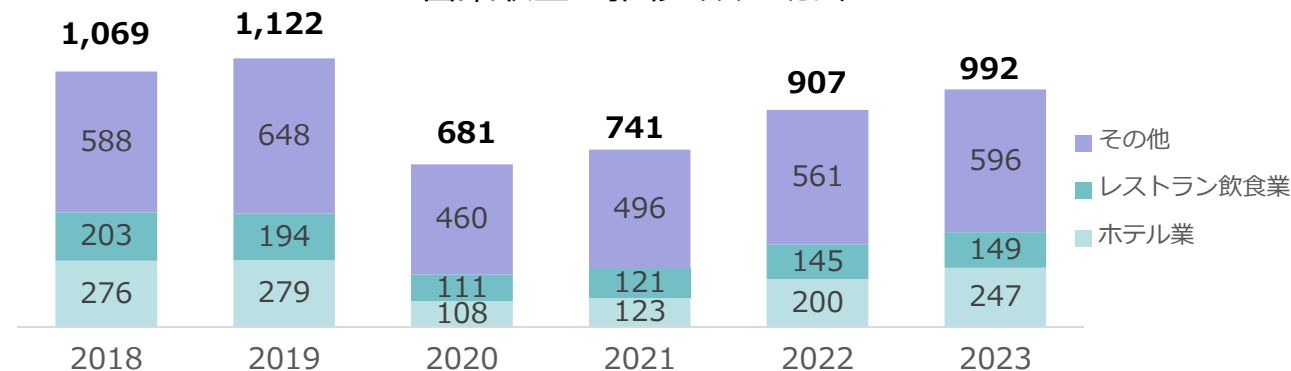


# セグメント別業績予想（その他の事業）



単位：百万円	2022年度	2023年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	90,716	99,200	+8,483 (+9.4%)		97,700	+1,500 (+1.5%)	
ホテル業	20,016	24,700	+4,683	(+)稼働回復 (△)ホテル小田急連結除外	24,100	+600	(+)稼働回復
レストラン飲食業	14,501	14,900	+398		14,900	-	
その他	56,197	59,600	+3,402	(+)リゾート人材派遣需要回復	58,700	+900	(+)リゾート人材派遣需要回復
営業利益	△821	4,800	+5,621 (-)		4,400	+400 (+9.1%)	
ホテル業	△3,255	2,400	+5,655	(+)稼働回復 (+)ホテル小田急連結除外	2,200	+200	
レストラン飲食業	△37	100	+137		100	-	
その他	2,470	2,300	△170		2,100	+200	
設備投資額	4,315	5,900	+1,584		2,800	+3,100	
減価償却費	3,774	3,100	△674		3,100	-	

営業収益の推移（単位：億円）



## ■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を当社HPの「決算関連資料」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

## ■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

# 小田急電鉄株式会社